

Beyond 2050 Pre-アゴラ 「プライバシーの未来」

街中の監視カメラ、スマホの位置情報、〇▽Payで払えばその履歴、これらのビッグデータは、広告をはじめ多様な形で第三者に利用されています。診療データやDNA配列にビジネスチャンスを求めるうごきも活発です。あなたのプライバシーはどこまで保たれているのでしょうか？
プライバシーの未来はどうなるのか、どうあってほしいのか、ともに考えてみませんか？



参加費
無料

友人・
知人が
出来る

研究者
を知る

壁打ち
上等

選択肢
を増や
せ

軽食
付*

日時と内容：

第1回 4月22日（月） 18:30-19:30 ハテナソン*体験

第2回 5月01日（水） 18:30-20:00

中尾先生との対話 「交通分野におけるビッグデータの活用」

第3回 5月08日（水） 18:30-20:00

音無先生との対話 「プライバシー権の保障根拠と保障内容」

第4回 5月22日（水） 18:30-20:00 多様な思考プロセスを学べる「プレゼン&講評」会

※東証プライム上場企業の新規事業開発者も参加！

最終日に修了証を授与

場 所：第1-3回 BoCS（京都市左京区吉田牛ノ宮町19-8）

第4回 京都大学国際科学イノベーション棟4階会議室C+D

（吉田本部 京都市左京区吉田本町36-1）

参加費：無料 第2回および第3回は**軽食付**

対 象：京都大学全学生（第1回・第4回は参加必須）

定 員：12名（要事前申込み）

申 込：<https://forms.gle/f7atJMaMMmezMkiK7>



「ハテナソン」とは、はてなとマラソンを合わせた造語で、マラソンのように質問を沢山作ることで、わたしたちが何についてどのように考えたいかを見出すワークです。解決法を見出すアイディアソンとそれを実装するハッカソンの前段階に位置付けられています。



話題提供いただく研究者

工学研究科 中尾 聡史（なかお さとし） 先生



様々な交通問題に対して、工学的な視点だけでなく、人々の心理や民俗を踏まえたアプローチにも着目した研究を行っている。交通分野におけるビッグデータの活用の可能性について紹介するとともに、その問題点にも言及しながら、プライバシーの未来を考える。

法学研究科 音無 知展（おとなし ともひろ）先生



従来の「プライバシー権＝自己情報コントロール権」という図式は今後も成立しうるのか。その図式の限界が指摘されている中、プライバシー権によって実質的に保護される利益の多様性を踏まえつつ固有の保障根拠を示すとともに、自分の個人情報の取扱いについての「通知と同意」にとどまらないプライバシー権の内容を明らかにすることを試みている。

BoCSとは

2019年設立。京大・吉田キャンパスから徒歩5分の一軒家で、24時間無料で使えるコミュニティスペースを運営しています。学術系・ビジネス系のイベントを定期的 to開催することで、学部を超えた学生間の繋がりを生み、おもしろい京大生のコミュニティを目指します。



Beyond 2050とは

京都大学のあらゆる分野の研究者・学生が従来の学問分野の枠組みを超えて議論し、2050年以降も通用するアジア発の新たな価値基準に基づく未来の社会像を提案する研究組織です。これまで、プロローグと称するディスカッションミーティングを開催するなど、本年度の本格的な実施に向けて準備を進めています。

